

令和4年度

信州ESD/SDGs 成果発表 & 交流会

～ユネスコエコパークと共に学ぼう～

ESD (Education for Sustainable Development) は、これから目指すべき持続可能な社会の創り手を育む教育です。新しい学習指導要領全体の基盤となる理念として、またSDGs (持続可能な開発目標) 達成の鍵として、注目が集まるESD。この成果発表&交流会では、各校でESDの学びを実践している子どもたちが、学びの成果を発表し、また交流を通じてその学びを広げ深めます。長野県内だけでなく、各地のユネスコエコパークでESDを実践している学校もオンラインでつながることで、様々な分野での発表や学びの広がりが期待されます。

令和5年 2月3日(金) 9:50～15:30
(2023年) 2月4日(土) 10:00～12:10

お申し込み・
YouTubeの視聴は
こちらから!



— オンライン開催・参加費無料 —

同時
YouTube
ライブ配信

発表・交流をご希望の学校等は、事前申し込みが必要です。

1月13日(金) までに右記URLまたはQRコードよりお申し込みください。

発表・交流会の視聴のみをご希望の方は、事前申し込み不要です。

[https://esd-nagano.org/
conference2023/](https://esd-nagano.org/conference2023/)

2月3日(金)

2月4日(土)

【午前の部】

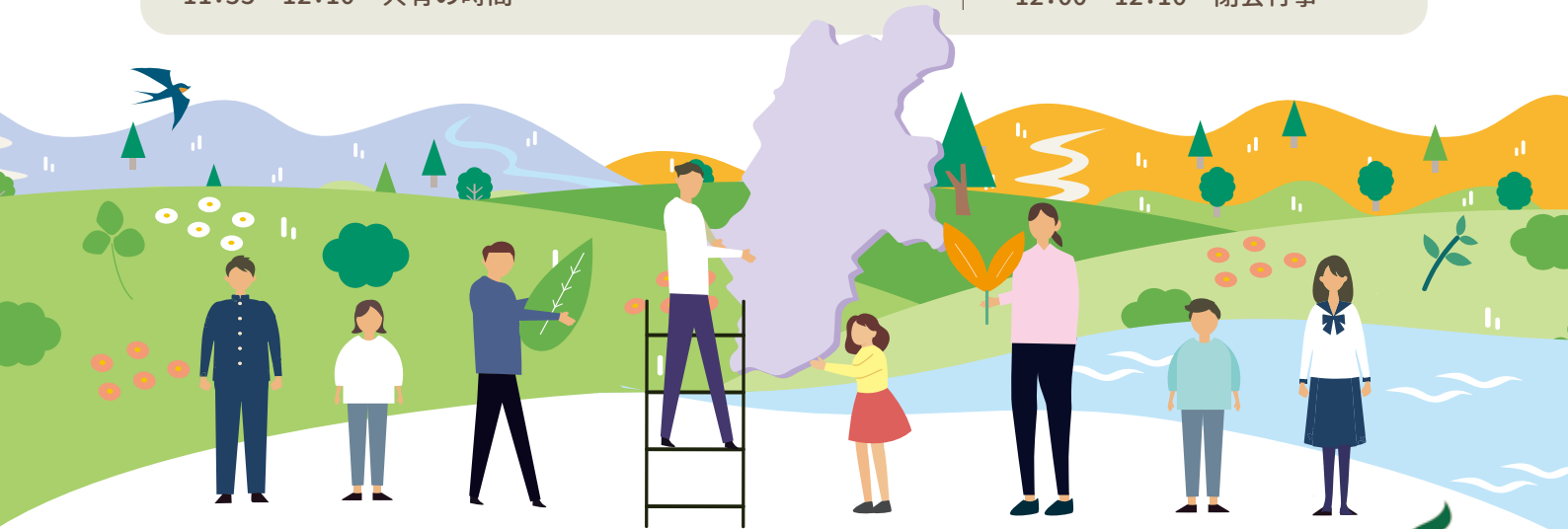
9:50～10:10 開会行事
10:15～11:40 発表・交流会
11:40～11:50 講評
11:55～12:10 共有の時間

【午後の部】

13:30～15:00 発表・交流会
15:00～15:10 講評
15:15～15:30 共有の時間

【午前のみ】

10:00～11:30 発表・交流会
11:30～11:40 講評
11:45～12:00 共有の時間
12:00～12:10 閉会行事



主催：信州ESDコンソーシアム

共催：公益財団法人イオン環境財団



イオン環境財団、信州大学



後援：長野県教育委員会、一般社団法人長野県環境保全協会、長野県ユネスコ連絡協議会、長野ユネスコ協会
ESD活動支援センター、中部地方ESD活動支援センター、ユネスコスクール支援大学間ネットワーク (ASPUnivNet)

(予定)

お問い合わせ

信州大学教育学部 信州ESDコンソーシアム事務局 (担当:松橋・清水)

〒380-8544 長野市西長野6-口 TEL:026-238-4034 E-mail:kyoesd@shinshu-u.ac.jp HP:https://esd-nagano.org/

ユネスコスクールとは

ユネスコスクール (Associated schools Project Network:ASPnet) は、ユネスコ憲章で示されたユネスコの理念を実現するため、平和や国際的な連携を実践する学校です。世界182カ国の約11,500校がユネスコスクールに加盟しており、このうち日本はもっとも多い1,120校が登録しています (2019年11月現在)。

ユネスコスクールは、日本ではESD推進拠点として位置づけられ、ESDの先導的な実践や発展、情報発信を通じて、ESDの普及・推進に大きな役割を果たしてきました。ESDにすべての学校が取り組むようになった現在、ユネスコスクールにはさらに質の高い、モデルとなるESD実践が期待されています。



信州ESDコンソーシアムについて

信州ESDコンソーシアムは、長野県でのESDの普及・推進を目指して、2017年2月に信州大学教育学部が中心となって設立した団体で、ユネスコスクール、教育委員会、民間ユネスコ協会、NGO、企業、団体など、子どもたちの学びにかかわる多様な主体が参画しています。コンソーシアムはESDに関連する情報発信や実践のコーディネート、各種研修会や交流会の開催などの活動を行っています。

自然豊かな長野県には、国内でもっとも多い3つのユネスコエコパークがあることから、これらを活かしたESDの普及・推進にも取り組んでいます。

ユネスコエコパークとは

ユネスコエコパーク (Biosphere Reserve:BR) は、ユネスコ人間と生物圏 (MAB) 計画の枠組みに基づいて国際的に認定された、生態系の保全と持続可能な利活用の調和を目指すモデル地域で、「持続可能な開発について学ぶ場」として注目されています。世界134カ国に738サイトのBRがあり、このうち日本では10サイトが登録されています (2022年6月現在)。

ユネスコエコパークには豊かな自然や、自然と調和した営みを続けてきた歴史、伝統、文化などの学習資源が豊富で、ESD実践の場として好適です。

今回の成果発表&交流会では、各地のユネスコエコパークでESDを実践する学校がオンラインでつながり、交流を通じて学びを深めます。ぜひ、ご期待ください。



ESDとは

ESDはEducation for Sustainable Developmentの略で、『持続可能な開発のための教育』と訳されます。気候変動や貧困、人権、平和といった、私たちの社会の存続に関わるさまざまな課題を自分事としてとらえ、その解決に向けて自ら行動する人を育てることを目指す、「持続可能な社会の創り手」を育む教育です。SDGs(持続可能な開発目標)においてESDは、目標4「質の高い教育をみんなに」のターゲットの一つであると同時に、すべての目標達成に人づくりを通じて貢献する鍵ともなっています。

2020年度から順次実施されている新学習指導要領において、「持続可能な社会の創り手」の育成という表現でESDの理念が組み込まれたことから、ESDは現在、すべての学校現場で実践される学習活動となっています。